

佐久一萬里温泉

Saku Ichimanri Onsen
(長野県佐久市)



内部

待ちに待ったスキーシーズンが始まった。当銭湯愛好会のスキー場温泉取材班の出番である。今シーズンの初スキー場所に選んだのは八千穂高原。標高が高く、雪質が良いことが特徴だ。ただ、その分気象も厳しい。取材日は強風で体感温度はマイナス 10℃くらいであった。

冷え切った体を温めるため、佐久一萬里温泉へ。ここは宿泊を始め、日帰り入浴、会議、研修、宴会などが可能なホテル施設である。

早速温泉へ、と言いたいところだが、その前に重要な情報が。まずは売店へ行こう。ここでお土産物を一点購入し、レジで「温泉割引券をください」と申し出る。温泉のフロント前にある入浴券の券売機で 500 円を投入して割引券適用のボタンを押し、券売機から出てきたチケットと先の割引券を温泉のフロントに提示することで、入浴料 1,000 円が半額の 500 円になるのだ。売店のレジのおばちゃんはちょっと面倒くさそうに、しかし 3~4 枚の割引券を気前よく渡してくれるはずだ。通常ならおみやげは入浴後に購入するもの。しかし、ここでは入浴前に購入しなければ意味がない。私の場合、680 円の胡桃パイ (6 個入り) を購入した。これで数人分の入浴料が半額になるのであれば、大変なお買い得である。注目のおみやげは下仁田ねぎだ。10 本程度が束になったかなりの分量でなんと 380 円であった。

温泉は実に多彩だ。入口から、上がり湯、洞窟風呂、打たせ湯、ジェットバス、サウナ、低温サウナ、水風呂、気泡風呂、大風呂、檜風呂、露天風呂、歩行風呂がある。順番に紹介しよう。

洞窟風呂は四方八方が岩で囲まれた薄暗い風呂である。瞑想するにはもってこいだ。打たせ湯とジェットバスはそれぞれ2人分がある。サウナは定員15人程度。テレビもある。室内温度は100℃以上。上級者向けだ。初心者は低温サウナへ入ろう。定員は6人程度だろうか。室内温度は70℃とやさしい。檜風呂はぬるぬるしているので滑らないように気をつけよう。檜風呂はこの温泉で一番落ち着く浴槽かもしれない。露天風呂は小屋組みが鉄骨とトタンなので少々味気ない。変わり種は屋外にある歩行風呂だ。長さは約10数メートル。かなりぬるめの湯温で長時間の歩行が可能だ。

それぞれの浴槽にはユニークな文章でうんちくが記されているので、必ず読むようにしよう。真偽のほどは定かではないが、気持ちが和らぐことは間違いない。浴槽の湯温は、歩行風呂を除いていずれも適温がややぬるめだ。

洗い場は16か所。自閉式のシャワーヘッドと水栓が個別に設けられている。温度調整はできないがちゃんと適温の湯が出てくる。シャンプーとボディーソープは完備している。

佐久一萬里温泉の温泉フロント横にはコインランドリーもあって便利だ。興味深いのは、そのコインランドリーのすぐ脇に、スナック「まいこ」の入口があることだ。洗濯をしながらスナックでカラオケを満喫できるということだろうか。このスナック、昼間なら入場料1,000円でカラオケがやりたい放題だそう。

ちなみに、佐久一萬里温泉はナトリウム塩化物温泉（高張性中性温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後の回復、疲労回復、健康増進に効くという。

佐久一萬里温泉は、一萬里の遠くからでも訪れたいスーパー温泉である。

- 名称：佐久一萬里温泉
- 所在地：長野県佐久市中込 3150-1
- 電話：0267-63-3355
- 営業時間：10：00～23：00
- 定休日：無休
- 入浴料：年齢にかかわらず1,000円（宿泊者は無料）
- サウナ：あり
- サウナ内のテレビ：あり
- 取材日：2013年12月14日（土）
- 取材：銭湯愛好会・東京支部